

アートまるケット

レポート

2015



2016



アートまるケット

美術館の中には色々な作品が展示室に展示してあります。「○○」な気持ちがあるわーって
 (絵とかを見たときに) あいもたりします。
 そんな○○な感じは美術館に入る
 前々からにもあたりする。花を見たり。
 空を見たり。川を見たり。風に吹かれり。
 人と会ったり。人と話したり。写真を撮ったり。
 水の中に入り。……。自分のリズムの中
 にも。いつでもその○○な感じは自分
 の中からひきだせる。そんな。身体に
 なるように アートまるケットは、みんなを
 美術館の前の座で待っている。
 WAKINO.

(岐阜県美術館長 日比野 克彦)



アートまるケット

DIRECTED BY HIBINO KATSUHIKO



目次	1
アートまるケットについて	2
アカデミー紹介	3

>>>2015「花は色の棲家」

アートまるケットができるまで 1年目のドキュメンタリー	4
2015「花は色の棲家」	5
アートまるケット 「花は色の棲家」にむけてのワークショップ(1)	10
アートまるケット 「花は色の棲家」にむけてのワークショップ(2)	11
花の引っ越し	12
日比野克彦の「色に関する100の指令」	13
ホテルの棲む気配のキュービクル	15
花木のささやき	16
花木のささやき集め	17
伝統木造構法による小屋を造ろう	18
森とお花のカラカラづくり	20
地球は丸い、苔も丸い	22
花の引っ越し	24
大きな紙にお花がいっぱい	25
ローズカフェ	27
ハウキ作り	28
アフリカンコンサート	30
花ラジ	32
[夢のまち・けん美ランド]つくり	34
花は…? 木歌(Mocca)VOICE LIVE with MIKI FUSEYA LIVE PAINT	36
ぎふ木育キャラバン	38

>>>2016「ながれミながら」

アートまるケットができるまで 2年目のドキュメンタリー	40
2016「ながれミながら」	41
まきまきタネまき	46
小さな花のおひっこし	48
まきまきヒマワリ	50
日比野克彦ワークショップ 流れ作り乍ら	52
川のしおり	54
水車を組み立て、回してみよう。	56
ぎふの木でつくって浮かべてあそぼう	58
ふわふわコットン	60
水辺の街"ケン美カラー・ HUIS(おうち)"で1日アムステルダム	62
地球も丸い、苔も丸い	64
はしハシ、かけカケ	66
樹×アートまるケット 「このきなんのき？」	68
収穫祭	69
アートまるケット 2015-2016を振り返って ～公然の秘密の花園(ノット・シークレット・ガーデン)～	73
資料	76

2015「花は色の棲家」



アートまるケット

DIRECTED BY HIBINO KATSUHIKO

「アートまるケット」は、2015年にスタートした館長日比野克彦のディレクションによる特別企画です。岐阜県美術館を、これまで足を運んだことのない人にも気軽に楽しんでもらえる場所にしたい、人と人とが交流することで文化が生まれる場所、鑑賞する場だけでなく出会う場にしたい、そんな思いが新しいかたちになって庭園にあらわれました。

「アートまるケット」の「まるけ」は岐阜の方言で「まみれ」ることを意味しています。それを市場を意味する「マルシェ」、「マーケット」に掛けて、岐阜を「アートまみれ」にしようと提案しています。この企画は、日比野のデザインによる構造物と周囲を彩るプランターの花々を軸に、県内3校のアカデミーと1校の大学院大学との意見交換を通して、協同作業を行いながら進行しています。学生と共に作り上げる花や展示物、各校の特色を生かしたワークショップ、美術館に集う人々による一連の発表活動など、多種多様なプログラムが生まれ、それらすべてが「アートまるケット」を構成しています。本書は、アートが美術館の建物からあふれ出た、2年にわたる2回の特別企画の報告記録です。

岐阜県立国際園芸アカデミー、岐阜県立たくみアカデミー、岐阜県立森林文化アカデミー、情報科学芸術大学院大学(IAMAS)各校のご協力をいただいた皆様には、この場を借りて改めてお礼申し上げます。さらに、様々なかたちでサポートしてくださった関係者の皆様、そして何よりも、この企画をきっかけにアートにまみれてくださった多くの来館者の皆様に、厚くお礼申し上げます。

今後一層岐阜のすべてが、岐阜発信によって全国が、アートまるケになりますように。

2017年3月

岐阜県美術館



アカデミー紹介

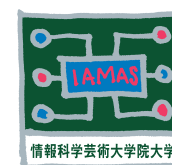


花と緑をあつかう職業園芸人の育成を目的に2004年に開校された専修学校。人材育成部門と生涯学習部門の2部門を設置している。人材育成部門マイスター科は2年制で、高等学校卒業以上またはこれと同等の学力をもつ者を対象とした、花き生産、花き装飾、造園緑化の各コースがある。生涯学習部門では、花と緑に関心のある人を対象に、花づくりから花飾り、緑化や植物の利用など幅広い講座を開設している。

設置形態：専修学校(専門課程)
住 所：岐阜県可児市塩1094-8

実践的な技能・技術や専門知識を学ぶ公立の職業能力開発施設。1947年に開設された太田木工芸補導所から始まり、2003年に改称。現場の即戦力となる人材を養成する国際たくみアカデミー職業能力開発校(設備システム科、住宅建築科、自動車エンジニア科)と、ものづくりを中心とした現場のリーダーを養成する国際たくみアカデミー職業能力開発短期大学校(生産技術科、建築科)の両校で、1年間または2年間の職業訓練を実施している。

設置形態：職業能力開発短期大学校
職業能力開発校
住 所：岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3545-3



情報科学芸術大学院大学(Institute of Advanced Media Arts and Sciences)は先端技術と芸術的創造との融合を理念に掲げ、情報社会の中での新しい表現者を養成する大学院大学。2001年に開設された。英語の略称をとってIAMAS(イアマス)と呼ばれる。2年間の修士課程のみ、メディア表現研究科メディア表現専攻の一研究科一専攻の大学院として、1学年20人の少数精鋭主義の教育、研究を行っている。

設置形態：大学院大学
住 所：岐阜県大垣市加賀野4丁目1-7

森林・林業・林産業とその関連産業分野で活躍する人材を育てる2年制の専門学校。1971年に開校した岐阜県林業短期大学校を前身に、2001年に開学。森と木のエンジニア科は、高等学校卒業程度の者を対象とし、林業や林産業の現場で、高い安全性と経済性を両立させて活躍できる技術者を育成する。森と木のクリエイター科は、大学卒業程度または実務経験者等を対象とし、森林利活用分野(林業、森林環境教育)・木材利用分野(木造建築、木工)の現場において指導的立場で活躍できる人材を育成する。

設置形態：専門学校
住 所：岐阜県美濃市曾代88



アートまるケットができるまで 1年目のドキュメンタリー

- 2014 10月28日 「アートまるケット」の立ち上げと、各校への協力依頼準備
- 12月2日 各校への「アートまるケット」についての説明と協力依頼 @各校
- 2015 2月3日 各校の関係者が参加し、意見収集する会議 @美術館
- 2月20日 各校からのプログラム提案 @岐阜県庁
- 3月16日 各校と、庭園に制作する造作物企画に向けた4月11日のワークショップについての会議 @美術館
- 4月11日 **アートまるケット「花は色の棲家」にむけてのワークショップ @美濃のいえ**
- 4月13日 各校と、4月11日のワークショップで生まれた造作物のアイデアについての会議 @美術館
- 4月28日 各校と、造作物制作の具体化に向けた5月17日のワークショップ企画と、各校のイベント案についての会議 @美術館
- 5月17日 各校と、造作物制作の具体化とイベントについての会議 @美術館
- 5月17日 **アートまるケット「花は色の棲家」にむけてのワークショップ @美術館 スタジオ**
- 5月25日 各校と、美術館の業務、造作物設計とイベントについての会議 @美術館
- 7月6日 各校と、造作物設計・施工と、広報物、イベントについての会議 @美術館
- 8月4日、5日 各校と、オープンまでの準備とイベントについての会議 @美術館
- 9月5日 **アートまるケット「花は色の棲家」オープン**



ホワイトボードに描いたラファイメージ



会議風景



設営場所調査



万物は0からは始まらない。出会い、互いに刺激をおぼえるなかで生まれてくる。そのプロセスと成果物に必然性があった事象と物は、あたかも以前から存在したかのように、そこにあるべくしてある。庭に現れた「花は色の棲家」がそうであった。花で覆われた、すの一、すの二、すの三、すの四が庭の木々に絡み、来館者がその中を住人のように回遊する。奇をてらった構造でもなく、特別な仕掛けがあるわけではないが、この姿に行き着くまでには、美術館が3つのアカデミーと一つの大学院との出会いの中で、互いの「らしさ」を持ち寄りながら練り上げられてきた。花が種をつけて来年につなげるように、アートまるケットも、次につなげる種をつけた。「花は色の棲家」がなくなった庭は0ではないのです。

日比野 克彦

アートまるケット 2015

すみか 「花は色の棲家」

2015年9月5日(土)→12月13日(日)

会 場: 岐阜県美術館

主 催: 岐阜県美術館

岐阜新聞・ぎふチャン

協 力: 岐阜県立国際園芸アカデミー

岐阜県立国際たくみアカデミー

岐阜県立森林文化アカデミー

情報科学芸術大学院大学(IAMAS)



概要

2015年は花をテーマに、様々な花が彩る造作物「花は色の棲家」を庭園に制作した。「花は色の棲家」の中で植物は成長し、花を咲かせ、枯れていった。日常にある美とそれを受けとる心も、日々移ろい変わっていく。この日比野の発想したコンセプトを基に、会期前に協力校4校の学生たちが花をイメージして、造作物のアイデアを出し合った。日比野のワークショップで参加者は和紙で花をつくり、会期終盤には種を採取し、持ち帰った。

会期中、「花は色の棲家」を中心として協力校が館内外で、それぞれの特色を活かしたイベントを開催した。国際園芸アカデミーは「花は色の棲家」を彩る花を育成し、園芸に親しむワークショップを行った。国際たくみアカデミーは「花は色の棲家」の脇に、イベントの舞台にもなる小屋を制作した。森林文化アカデミーは幼児を含む親子を対象に、木を使ったワークショップを行った。情報科学芸術大学院大学(IAMAS)は「花は色の棲家」を彩るインスタレーション展示や館内外のイベントを行った。美術館は庭園でのコンサートや花をテーマとしたワークショップを行った。

チラシ



すみか 「花は色の棲家」

「花は色の棲家」は4つの木造構造物「色の棲」で構成されており、全て回廊でつながっていた。高さはそれぞれ約4メートルから5メートル弱の立方体で、ジャングルジムのように格子状になっていた。この格子の中に色とりどりの花々とする草などを植えたハンギング・バスケット、さらに日比野が色や花やアートについて記した木製プレートを取り付けた。また、「色の棲」の周囲にはプランターを並べた。4つの「色の棲」それぞれを「すの一」、「すの二」、「すの三」、「すの四」と呼び、「すの一」には情報科学芸術大学院大学(IAMAS)による展示作品と椅子、「すの二」には展望デッキ、「すの三」内部には階段、「すの四」にはワークショップ参加者が作る和紙の花を設置した。



「すの一」(左)と「すの二」(右)



「すの三」(左)と「すの四」(右)



「色の棲」をつなぐ回廊



植物リスト

- ジニア
- コリウス
- 観賞用トウガラシ
- メランポジウム
- マリーゴールド
- キンギョソウ
- しだれアサガオ
- ルコウソウ
- 風船かずら

- アベルモスクス
- キバナコスモス
- ホウセンカ
- コスモス
- ギンセンカ
- コットンツリー
- コキア
- アスクレピアス
- ローゼル

- モミジアオイ
- オキシペタルム
- ポーチュラカ
- アメリカンブルー
- ニチニチソウ
- ブルーサルビア
- アンゲロニア



カレンダー 2015年

8月

8/20(木) 10:00~15:00
国際園芸アカデミー ワークショップ 花の引っ越し

9月

9/5(土)・6(日)
14:00~16:00
美術館
日比野克彦の
「色に関する100の指令」

9/20(日) 10:00~18:30
国際たくみアカデミー
デモンストレーション & ワークショップ
伝統木造構法による小屋を造ろう

9/21(月・祝) 13:00~14:00、14:30~15:30
9/22(火・祝) 11:00~12:00、13:30~14:30
森林文化アカデミー
木育ワークショップ 森とお花のカラカラづくり

9/5(土)~12/13(日) 情報科学芸術大学院大学(IAMAS)
● 展示 ホタルの棲む気配のキュービクル ● 展示 花木のささやき
● スタンプラリー 花木のささやき集め

9/26(土) 11:00~11:45、13:00~13:45
国際園芸アカデミー
ワークショップ 地球は丸い、苔も丸い

10月

10/4(日) 10:00~15:00
国際園芸アカデミー
ワークショップ 花の引っ越し

10/18(日) 10:00~14:30
美術館
ワークショップ 大きな紙にお花がいっぱい

10/31(土) 12:00~16:00
情報科学芸術大学院大学(IAMAS)
ワークショップ ホウキ作り

10/3(土)・17(土) 16:30~18:00
美術館
日比野克彦の「色に関する100の指令」

10/31(土) 11:00~15:00
情報科学芸術大学院大学(IAMAS)
ローズカフェ

11月

11/7(土)・22(日) 14:00~16:00
美術館 日比野克彦の「色に関する100の指令」

11/1(日) 14:00~
美術館
アフリカンコンサート

11/7(日) 13:00~14:00
情報科学芸術大学院大学(IAMAS) 花ラジ

11/23(月・祝) 11:00~11:30、14:00~14:30
美術館
花は...? 木歌(Mocca) VOICE LIVE with
MIKI FUSEYA LIVE PAINT

11/1(日) 12:00~16:00
情報科学芸術大学院大学(IAMAS)
ワークショップ ホウキ作り

11/21(土) 10:00~11:30、13:00~14:30
森林文化アカデミー
ワークショップ 「夢のまち・けん美ランド」づくり

11/28(土) 10:00~16:00
11/29(日) 10:00~15:00
森林文化アカデミー
ぎふ木育キャラバン

12月

12/12(土)・13(日) 14:00~16:00
美術館 日比野克彦の「色に関する100の指令」

9/5(土)~12/13(日) 情報科学芸術大学院大学(IAMAS)
● 展示 ホタルの棲む気配のキュービクル ● 展示 花木のささやき
● スタンプラリー 花木のささやき集め





PRE-EVENT アートまるケット「花は色の棲家」 にむけてのワークショップ(1)

概要

OUTLINE

担 当：美術館
日 時：2015年4月11日(土) 15:00～17:40
場 所：美濃のいえ(美濃市)
スタッフ：美術館 4人、他
参 加 者：国際園芸アカデミー 15人、
国際たくみアカデミー 2人、
森林文化アカデミー 12人、
情報科学芸術大学院大学(IAMAS) 9人

会期前のプレイベントとして、庭園に設営する「色の棲」のアイデアを発想するワークショップ。日比野の発する言葉から、4校の学生がイメージを描き、プレゼンテーションを行った。

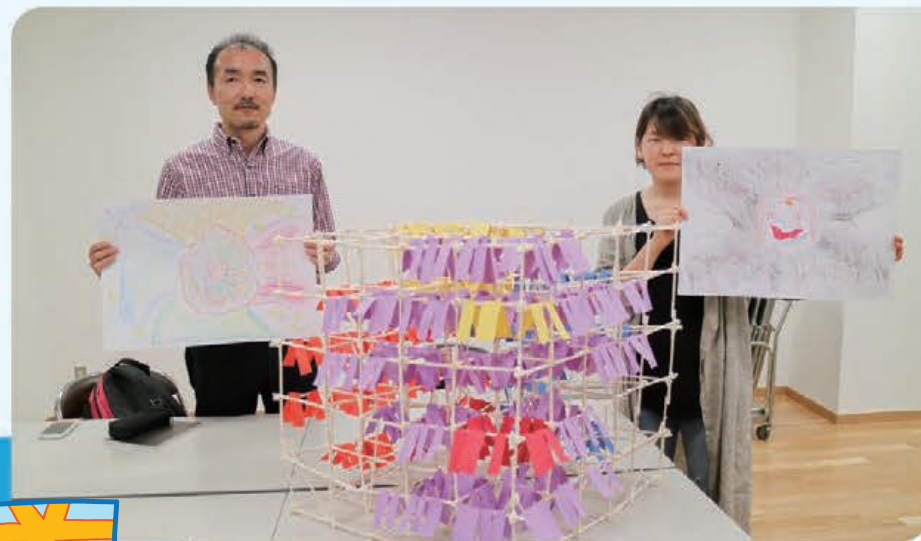
ワークショップの流れ

FLOW

- ① 日比野の指示に沿って指示ごととなりの人に画用紙を回しながら描く。

〈指示〉
1. 好きな色で「○」を2つ描いて下さい。
2. 好きな色で「△」を一つ描いて下さい。
3. 好きな色で「□」を一つ描いて下さい。
(五角形、六角形も行う)
4. 形をつないで下さい。
5. 虫になった自分を好きな場所に描き、セリフを書いて下さい。

- ② 完成した絵をもとに意見を交換する。
- ③ 6つのグループごとに発表する。



PRE-EVENT アートまるケット「花は色の棲家」 にむけてのワークショップ(2)

概要

OUTLINE

担 当：美術館
日 時：2015年5月17日(日) 13:00～17:40
場 所：美術館 スタジオ
スタッフ：美術館 5人、他
参 加 者：国際園芸アカデミー 15人、
国際たくみアカデミー 3人、
森林文化アカデミー 5人、
情報科学芸術大学院大学(IAMAS) 6人

会期前のプレイベントとして、前回のワークショップで考えたイメージをもとに、「色の棲」の模型をつくるワークショップ。参加した学生は「色の棲」を彩る花の色構成を検討した。

ワークショップの流れ

FLOW

- ① 3つのグループにわかれ、割り箸を材料に格子状の模型「色の棲」(実寸の10分の1)をつくる。
- ② 色画用紙を適当なサイズに小さく切り、「色の棲」に配置する。
- ③ グループごとに発表する。



色画用紙を配置

